



①

2logue: 「のこぎり」な入口・・・クラインの壺？

二坪: ようこそ、「のこぎり二」へ。まずは、この入口から入ってみましょうか。①

ノコ: ブラックホールか“うつほ（空洞）”か。何でも吸い込んでしまいそうな入口。

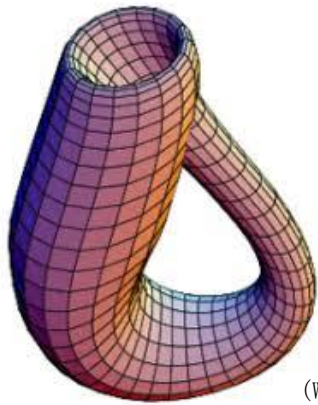
二坪: ここがギャラリーの空間です。利用頻度が少なく、「からっぽ」の日常があります。でも、これも「ひとつの展示」ではないかと思うのです。いわば「からっぽという常設展」です。②



②

ノコ: ワタシは、この“うつほ”が創造の根源だと思っています。初めて足を踏み入れた時、衝撃でした。異次元空間というか、まあ、いままで経験したことのないような感じが・・・

二坪: そう。この空間の威力というか、多くのアーティストが尻込みするみたいです。ナニをやってもいいんですがね。次元が違うといえば、クラインの壺というのがありますね。③



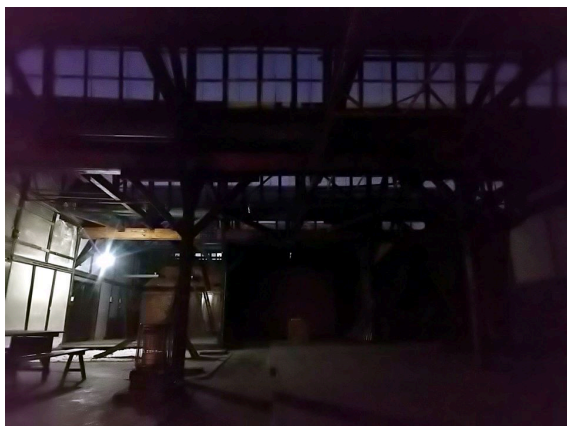
(Wikipedia より)

③

ノコ: おやおや、またトポロジーですか。

二坪: クラインの壺というのは、五次元位相を無理やり三次元位相に置き換えるとうなるというものらしいですね、よくわかりませんが。ただ、次元が違えば、「見えるもの」「見えないもの」が分かれてくるということが想像できます。そんなところに、“うつほ”が創造の根源である秘密があるんじゃないでしょうか？

ノコ:  ですよ。



④

二坪: でも、五次元世界なんて実感できませんから、謎のままです。さて、暗くなりましたので帰りましょうか。あっ、こっちから出ましょう。ちなみに、クラインの壺には出口はありませんけどね。④ (続くかな)